

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1239
施設名	用賀ルンビニ保育園
施設所在地	東京都世田谷区用賀四丁目14番22号
法人名	社会福祉法人 報恩会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と鏡

<テーマの設定理由>

「光と鏡」をテーマにのワークショップを体験し、身近な生活場面での素材に気づき知り、生活、科学の不思議さと発見した際のおもしろさを感じ、子どもひとり一人が主体的に「なぜ？どうして？」を深掘りできるような活動展開を行えるように設定した。

2. 活動スケジュール

2025/6 外部ワークショップ担当講師との打ち合わせ
2025/7/3 第1回目ワークショップ
2025/10/2 第2回ワークショップ
2026/2/9 第3回ワークショップ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
STEM実験セットミラーあそび、イロイロモザイク、LEDライトテーブル
フレキシブル収納棚、サクサクままごとケーキ屋さんセット、ミラーマット
プリンスソフト大、スライド&ゴードールハウス

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ギビングツリーより講師を招いてワークショップを行う中で、日常の不思議に気づいたり、発見する面白さを感じ、子ども一人ひとりの感じた発見を深掘りして、普段の保育活動への展開を目指した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
鏡を使って自分を映したり、角度を調節しての見え方や光の反射を知ることから、自分なりに工夫して見え方模索し、長い時間集中して遊ぶことができた。
その反面、楽しい中にルールがあることに気づいて行動できるように繰り返し伝えた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

環境を揃えておくことで、自分で不思議や発見を見つけながら遊んでいくことで集中して遊び、自分の言葉で伝えようとする姿が見られた。必要以上に声を掛けすぎず、子どもの言葉に耳を傾けて引き出せるように気をつけながら関わっていくようにした。また一度だけで終わらせず、次につながるように定期的に環境玩具を子どもたち自ら触れられるように設定していくようにした。